
中国情報（WTO/FTA・貿易・安全・その他）

2009年12月24日号

©2009年11月における中国のトウモロコシ市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2009年11月におけるトウモロコシ市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

1 国内価格は季節的な下落

2009年11月の新物トウモロコシは潤沢な入荷となり価格は季節的な下落となったが、依然として比較的高値となった。生産地域平均卸売価格は、前月比1.9%安、前年同月比11.6%高の1トン当たり1,712元、消費地平均卸売価格は同1.0%高、同11.2%高の1,974元であった。

2 国際価格は引き続き上昇

2009年10月の国際トウモロコシ価格は大幅な反発後、11月も引き続き上昇した。米国メキシコ湾における2号黄色トウモロコシの平均FOB価格は、1トン当たり171ドル、前月比2.5%高、前年同月比3.1%高、シカゴ先物価格は同153ドル、同4.5%高、同3.4%高となった。

3 トウモロコシの内外価格差は再度拡大

国際トウモロコシ価格と海運費の上昇により、10月の国内外トウモロコシ価格差は拡大した。

2009年11月の米国メキシコ湾における2号黄色トウモロコシFOB価格は、人民元換算で1トン当たり1,171元と国内産地トウモロコシ卸売価格に比べ541

元安だが、通関後価格（C I F + 関税等）は同1,992円で、同時期の国内トウモロコシの南方消費地港到着価格を同82元上回った。

4 1～10月累計輸出量は大幅減少

海関統計によると、2009年10月の輸出量は前月比20.1%減の2,746トンとなり、一方、輸入量は前月の1.6倍の1.88万トンとなった。

2009年1～10月の累計輸出量は、前年同期比53.6%減の8.8万トン、累計輸入量は、同50.5%増の3.3万トンとなった。

5 2009/10年度の世界のトウモロコシ予想生産量は減少

国際穀物理事会（I G C）の2009年11月の予測によると、2009/10年度の世界のトウモロコシ生産量は、前年度比0.5%減の7.87億トン、消費量は同2.8%増の8.0億トンと予測されている。国際トウモロコシ生産量は、需要を若干下回り、貿易量は同1.2%増、期末在庫量は1.33億トン、在庫消費比率は16.8%と予測されている。